

~マンガでたのしく学ぶ 水道・下水道!~ 水道事業・下水道事業の経営

上下水道事業は、税金ではなく、原則、水道料金・下水道使用料で事業を経営しています。水道料金は、受水費(※)や、水道管、配水池の整備、維持管理などに使われています。下水道使用料は、家庭から出た汚れた水をきれいな水に処理するため、水再生センターや下水道管の整備、維持管理などに使われています。

※堺市は、浄水場を持っていないので、大阪広域水道企業団から高度浄水処理した水道水を全量購入しています。

上下水道経営戦略



ねえねえすいちゃん！自治体によって料金が違うのはなぜ？

水道・下水道施設を作った時期、水源からの距離や土地の高低差などの条件によって必要な経費が違うからやで〜。

堺市上下水道局 マスコットキャラクター すいちゃん

ちなみに、堺市は使用水量が多くなるほど単価が高くなる料金制度だから、使用水量の少ない一般家庭の料金負担は小さくなっているんやで。

堺市は2か月単位の請求だから、1回の支払いは大きく見えるけど、検針回数を2か月に1回にすることで、検針や請求にかかる経費を抑えてるねん。

へ〜 そうなんだ！

平均的な一般家庭(1か月20㎡使用)の場合、水道料金は2,240円、下水道使用料は2,565円になるねん。(税抜)みんなが支払ってくれた料金はこのように使わせてもらってるで。

水道料金2,240円の使い道

項目	金額
局で働く人の給料など	1,098円
大阪広域水道企業団から水を買う費用	481円
施設をつくるときに借りたお金の利息や施設を維持管理する費用	402円
水道管などの施設をつくらたりする費用	259円

令和3年度

下水道使用料2,565円の使い道

項目	金額
局で働く人の給料など	1,115円
下水道管などの施設をつくらたりする費用	887円
施設を維持管理する費用	406円
施設をつくるときに借りたお金の利息	157円

令和3年度

水道施設の整備にかかったお金 **約1,560億円**

7か所の配水場から堺市内全域に水を送っています。

管の延長：約2,400キロ
昭和30年代後半からの高度経済成長期に整備

下水道施設の整備にかかったお金 **約5,800億円**

堺市が運営する3つの水再生センターなどへ流れています。

管の延長：約3,000キロ
平成初期に最重点施策の一つとして急速に下水道を整備

こんなにお金がかかって上下水道事業の経営は大丈夫？

実は…人口減少や核家族化の影響などで給水量が減っていて、これからも料金収入が減っていく予想やねん。

ちょっと不安…

給水量・人口推移

年度	給水量 (百万㎡)	水道を使っている人口 (万人)	下水道を使っている人口 (万人)
H16	84	105	95
H17	84	105	96
H18	81	105	97
H19	80	105	98
H20	78	105	99
H21	76	105	100
H22	74	105	101
H23	72	105	102
H24	70	105	103
H25	68	105	104
H26	66	105	105
H27	64	105	106
H28	62	105	107
H29	60	105	108
H30	58	105	109
R1	56	105	110
R2	54	105	110
R3	52	105	110

人口減少

それに、施設の耐震化・老朽化対策など、市民生活の安全安心を守る事業を着実に推進するためにたくさんのお金が必要やねん。

これからも水道・下水道サービスを提供し続けるために、先を見据えて計画的な施設の更新を行うほか、さまざまな経営改革に取り組みでまいります！

ご理解とご協力をよろしくお願いします！